

# ブルーミントン・ノーマル両市への 姉妹都市提携60周年記念訪問について

姉妹都市提携60周年を記念し、本市最初の姉妹友好都市である米国イリノイ州ブルーミントン・ノーマル両市を訪問し、交流を深めてまいりました。

## 日程

令和5年7月22日（土）から27日（木）まで

## 旭川市訪問団

（代表団）市長、市議会及び商工会議所の代表者  
（市民訪問団）旭川・ブルーミントン・ノーマル姉妹  
都市委員会をはじめとする23名

## 現地での行事

- ・ 姉妹都市交流60年の歴史を振り返る記念会見
- ・ イリノイ州立大学見学
- ・ 現地企業の視察 など



【担当】観光スポーツ交流部都市交流課

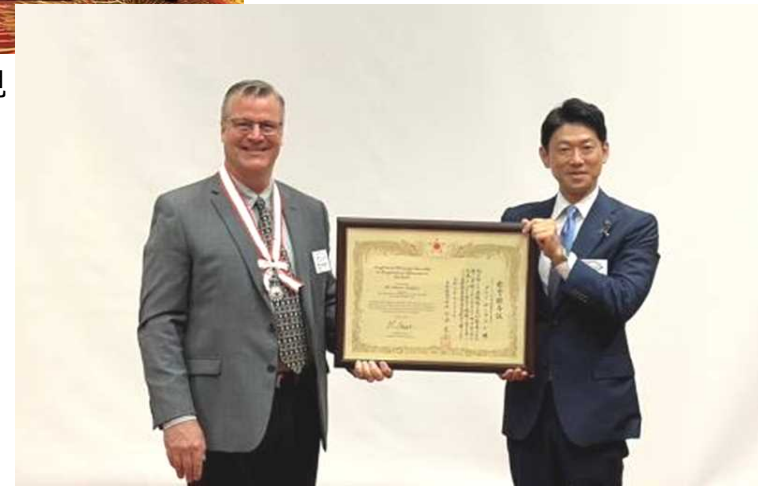
# 【1日目】



姉妹都市提携60周年記念会見



(左) ムボカ・ムウィランブウェ ブルーミントン市長  
(右) クリス・コース ノーマル市長



ブルーミントン・ノーマル・旭川姉妹都市委員会ダレン・  
サンプソン委員長への国際親善名誉市民称号の贈与

## 【2日目】



▲姉妹都市友好の橋



▲歴代の姉妹都市委員や青少年事業参加者との交流会

ノーマル・コーンベルターズ試合観戦▼

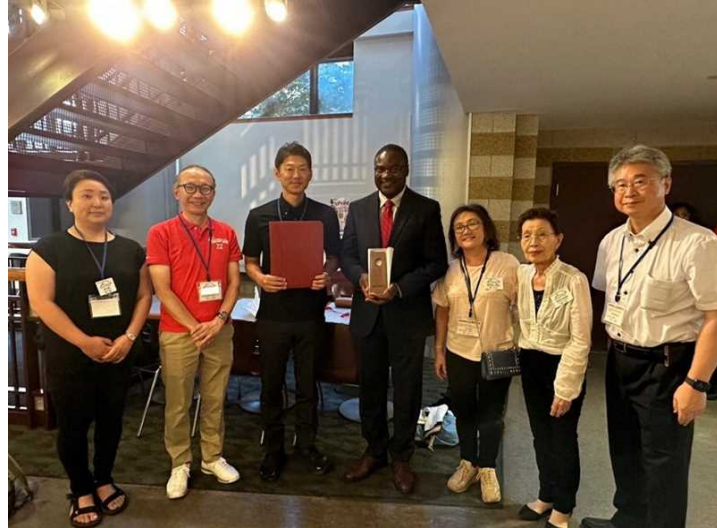
▼ブルーミントン市役所訪問



【3日目】



▲ステートファーム博物館訪問  
ノーマル市役所（議場） ▼



▲イリノイ州立大学訪問  
お別れの夕食会 ▼



## 行程表

【市長用】

2023.7.12現在

月日	時間	行程	食事	
7月22日 (土)	15:05 ~ 16:40	新千歳空港 → 羽田空港 (JL514便)		
	19:00 ~	ホテルチェックイン		
7月23日 (日)	~ 9:30	ホテル → 羽田空港	朝食	ホテル
	9:45 ~ 11:45	搭乗手続き		
	11:45 ~ 9:35	羽田空港 → シカゴ空港 (JL010 (フライト約11時間50分))	昼食	機内食
	10:30 ~ 12:30	シカゴ空港 → ノーマル市 ホテルチェックイン		
	12:30 ~	ホテルチェックイン (ブルーミントン・ノーマル マリオット ホテル&コンファレンスセンター)		
	14:00 ~	60周年記念記者会見	軽食	BN市手配
	16:00 ~	ノーマル市中心部へ (訪問・買い物)		
	18:00 ~ 20:00	地元のクラフトビール工場ディスティープビアホールで夕食	夕食	BN市手配
7月24日 (月)	9:00 ~	ノーマル市中心部集合	朝食	ホテル
	10:00 ~	ミラーパーク動物園訪問		
	11:00 ~	姉妹都市友好の橋訪問		
	12:00 ~	ミラー・パーク・パピリオンにて昼食	昼食	BN市手配
	13:00 ~	過去の姉妹都市委員会メンバーや歴代の青少年事業参加者との交流		
	14:00 ~	ブルーミントン市中心部訪問		
	15:00 ~	ブルーミントン市役所訪問		
	18:00 ~ 20:00	地元のマイナーリーグ野球チーム「コーンベルターズ」試合観戦	夕食	BN市手配
7月25日 (火)	9:00	ホテル出発	朝食	ホテル
	10:00 ~	ステートファーム博物館		
	12:00 ~	マックアリスタース (レストラン) にて昼食	昼食	BN市手配
	13:00 ~	ISU (イリノイ州立大学) 訪問と学長及びトーマス教授と面会		
	14:00 ~	大学のギャラリー (美術館) 見学		
	15:00 ~	ノーマル市役所訪問		
	16:00 ~	リビアン電気自動車工場見学 (昨年進出した電気自動車の工場)		
	17:00 ~	ホテルに到着		
	18:00 ~	ピアッジズ (レストラン) にてお別れ会	夕食	BN市手配
7月26日 (水)	6:00 ~	ホテルチェックアウトとお別れ	朝食	ホテル
	6:30 ~ 9:00	ブルーミントン → シカゴ空港		
	10:40 ~ 12:40	搭乗手続き		
	12:40 ~	シカゴ空港 → (日付変更)	昼食	機内食
7月27日 (木)	~ 15:35	→ 羽田空港 (JL009 (フライト約12時間55分))	軽食	機内食
	17:50 ~ 19:30	羽田空港 → 旭川空港 (JL557)		

※   現地時間 ※日付は日本時間 (現地滞在中は1日繰り下げ)

## ブルーミントン・ノーマル両市の概要

提携年月日 昭和 37(1962)年 10 月 11 日 (ブルーミントン市)  
昭和 62(1987)年 7 月 7 日 (ノーマル市)

人 口 ブルーミントン市 77,132 人 (令和 3 年現在)  
ノーマル市 54,451 人 (令和 3 年現在)

### ブルーミントン市の位置

イリノイ州マックリー郡の主要都市で海拔 243m, 面積 58.3km<sup>2</sup>, シカゴ市から南西 206km に位置し, ニューヨーク, シカゴ, セントルイス各線の鉄道が入っている農業, 商業, 工業の中心である。市政の象徴を A (Agriculture ; 農業), B (Business ; 商業), C (Culture ; 文化) で表わしており活気ある緑豊かな都市である。

### ノーマル市の位置

ブルーミントン市と隣接しており, 海拔 265m, 面積 44.1km<sup>2</sup> の穀物類の主産地で酪農, 畜産業が盛んな, 郡の農業及び商業の中心地である。また, イリノイ州立大学が設置されており, 中でも教育学部は全米で最も古い歴史があり, 研究学園都市として文化施設がよく整備されている。ブルーミントン市とは双子都市となっている。

提携の経過 昭和 35 年 11 月に, アメリカ合衆国イリノイ州ブルーミントン市の会計部長アルビン・J・ケラー氏から, 旭川市長あてに市の行政・産業等に関する資料送付の依頼があり, 市では同年 12 月 1 日に英文市勢要覧を送付, その後 1 年 4 か月を経た昭和 37 年 3 月 19 日に, 再び, アルビン・J・ケラー氏から市長あてに, ブルーミントン市議会は, 旭川市と姉妹都市の提携を希望するという文書が送られ, 6 月にブルーミントン市議会から旭川市をブルーミントン市の姉妹都市として宣言するとの決議文がボブ・マックグロウブルーミントン市長名で届けられた。

決議文の送付を受けた市では, 国際間の理解と親善を深めることは望ましいという観点に立ち, ブルーミントン市が姉妹都市として適当であるかどうかを検討した結果, 内陸都市で穀物類の産出地帯に位置し, 農畜産業が盛んで加工業も栄え, 工業では鋳造・鉄道車両・化学・暖房冷房器具・石油ストーブ・ラジオ・テレビ・洗濯機などの工場のほか市立の空港もあり, 主要鉄道の終起点で交通の要所でもあり大学もあって教育が盛んであるなど, 旭川市と類似している点が多く, 姉妹都市として適当であるとの結論に達し昭和 37 年 10 月 11 日, 市議会において姉妹都市宣言の議決を行った。

### ブルーミントン・ノーマル両市内の主な雇用先 (カッコ内は従業員数・2021bnbiz.org から)

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. ステイトファーム保険会社 (13,000 人)   | 12. アフニ社 (615 人)             |
| 2. リビアン電気自動車工場 (5,532 人)     | 13. グローマーク社 (522 人)          |
| 3. イリノイ州立大学 (3,885 人)        | 14. ブリヂストン社 (502 人)          |
| 4. カントリーフィナンシャル (3,718 人)    | 15. イリノイウエスリアン大学 (482 人)     |
| 5. 公立学校第 5 学区 (2,432 人)      | 16. ノーマル市 (374 人)            |
| 6. パロウマンディカルセンター (2,278 人)   | 17. ハートランドコミュニティカレッジ (369 人) |
| 7. ヘルテジオペレーショングループ (2,000 人) | 18. テンタックエンタープライズ社 (348 人)   |
| 8. OSF ヘルスケア (1,286 人)       | 19. フェレロ社 (300 人)            |
| 9. ブルーミントン市 (1,008 人)        | 20. ハートランド銀行 (262 人)         |
| 10. 公立学校第 8 7 学区 (800 人)     | 21. イリノイ農業組合 (250 人)         |
| 11. マクリーン群政府 (769 人)         |                              |

### ブルーミントン・ノーマル両市の主な名所

1. イリノイ州立大学 (アメリカで最も古い師範学校の一つ, 学生数 20,683 人)
2. イリノイウエスリアン大学 (学生数約 3,200 人)
3. デイビット・デイビス・マンション (19 世紀の邸宅)
4. マックリー郡歴史博物館
5. ブルーミントン・公演芸術センター
6. ミラーパーク動物園
7. コンステイチューショントレイル (多目的歩道公園)

## ブルーミントン・ノーマル両市との交流状況

## 1 姉妹都市締結日

ブルーミントン市 1962年(昭和37年)10月11日

ノーマル市 1987年(昭和62年)7月7日

(参考) 両市の人口

ブルーミントン市 77,132人(2021年)

ノーマル市 54,451人(2021年)

## 2 人的交流

## (1) 公式訪問団の相互派遣 合計645人

旭川からは、1963年(昭和38年)以来14回(285人)派遣

- 1963年(昭和38年) 親善訪問(谷口茂夫妻計2人)
- 1965年(昭和40年) 公式親善使節(森山委員長夫妻, 三浦氏計3人)
- 1967年(昭和42年) 姉妹都市提携5周年記念(五十嵐市長夫妻ほか計4人)
- 1969年(昭和44年) 親善訪問(森山委員長夫妻計2人)
- 1972年(昭和47年) 姉妹都市提携10周年記念(五十嵐市長, 森山委員長ほか計15人)
- 1976年(昭和51年) 米国建国200周年記念(森山委員長ほか計40人)
- 1979年(昭和54年) 親善訪問(坂東市長, 森山委員長夫妻ほか計15人)
- 1981年(昭和56年) 親善訪問(森山委員長夫妻ほか計4人)
- 1982年(昭和57年) 姉妹都市提携20周年記念(森山委員長ほか計41人)
- 1987年(昭和62年) 姉妹都市提携25周年記念(坂東市長夫妻, 奈良委員長夫妻ほか計42人)
- 1992年(平成4年) 姉妹都市提携30周年記念(坂東市長, 奈良委員長夫妻ほか計43人)
- 1996年(平成8年) 親善訪問(菅原市長ほか計9人)
- 2002年(平成14年) 姉妹都市提携40周年記念(菅原市長夫妻, 奈良委員長夫妻ほか計26人)
- 2012年(平成24年) 姉妹都市提携50周年記念(西川市長, 山田委員長夫妻ほか計39人)

B/Nからは、1962年(昭和37年)以来18回(360人)来旭

- 1962年(昭和37年) 親善訪問(シユディ・スタンさん計1人)
- 1964年(昭和39年) 公式親善使節(サム・スタン委員ほか計3人)
- 1970年(昭和45年) 旭川市開基80周年(ダグラス・ロードマン夫妻計2人)
- 1973年(昭和48年) 親善訪問(トレッガー氏ほか計22人)
- 1974年(昭和49年) 親善訪問(ビッターブルーミントン市長夫妻ほか計7人)
- 1977年(昭和52年) 親善訪問(キング委員長夫妻・スィンキングワイヤーズほか計33人)
- 1978年(昭和53年) 親善訪問(ローラーメンバー計10人), (ビュカンB市長一家)
- 1980年(昭和55年) 旭川市開基90周年(ビュカンB市長, コットフリーN市長ほか計35人)
- 1984年(昭和59年) 親善訪問(ビュカンB市長, コットフリーN市長ほか計42人)
- 1986年(昭和61年) 親善訪問(スマートB市長夫妻, ハモンN市長夫妻ほか計4人)
- 1990年(平成2年) 旭川市開基100周年(スマートB市長夫妻, ハモンN市長夫妻ほか計37人)
- 1994年(平成6年) 親善訪問(スマートブルーミントン市長夫妻ほか計8人)
- 1995年(平成7年) 親善訪問(キャカーノーマル市長夫妻・コマツほか計29人) ※7条緑道オープン
- 1997年(平成9年) 姉妹都市提携35周年記念(マコイツツB市長, キャカーN市長夫妻・コマツほか計52人)
- 2005年(平成17年) 親善訪問(ストックンブルーミントン市長夫妻ほか計9人) ※ブルーミントンヒルオープン
- 2007年(平成19年) 姉妹都市提携45周年記念(ストックンB市長夫妻, ケースN市長ほか計30人)
- 2011年(平成23年) 親善訪問(スタール委員長ほか計2人)
- 2017年(平成29年) 姉妹都市提携55周年記念(レナーB市長, ケースN市長ほか計34人)

(2) 高校生の相互交換留学 合計155人

1967年(昭和42年)から毎年実施 旭川から80人派遣(令和5年度派遣含む)  
B/Nから75人受入(令和5年度受入まで)

(3) 中学生の語学研修派遣及び受入れ 合計1,103人

1985年(昭和60年)から毎年実施 旭川から694人(令和元年度派遣まで)  
B/Nから409人(令和元年度受入まで)

(4) その他の交流

・医療交流(看護婦研修生の相互派遣) 合計10人

1981年(昭和56年)から1988年(昭和63年)まで実施

旭川から1回(2人)派遣

1986年(昭和61年) 日赤病院からブルーミントン市メノナイト病院へ(2人)

B/Nから4回(8人)受入れ

1981年(昭和56年) ブルーミントン市メノナイト病院から日赤病院へ(2人)

1983年(昭和58年) ブルーミントン市メノナイト病院から日赤病院へ(1人)

1985年(昭和60年) ブルーミントン市メノナイト病院から日赤病院へ(2人)

1986年(昭和61年) ブルーミントン市メノナイト病院から医大病院, 日赤病院へ(2人)

1988年(昭和63年) ブルーミントン市メノナイト病院から市立病院へ(1人)

・教師の来旭(市内学校視察) 合計24人

1989年(平成元年)から1994年(平成6年)まで実施

(三菱自動車工業, ソニー教育振興財団の招聘)

B/Nから6回(24人)受入れ

1989年(平成元年) B/N市小学校教師一行が来旭(3人)

1990年(平成2年) B/N市小中学校教師一行が来旭(8人)

1991年(平成3年) B/N市高校教師一行が来旭(3人)

1992年(平成4年) B/N市中学校教師一行が来旭(4人)

1993年(平成5年) B/N市中学校教師一行が来旭(3人)

1994年(平成6年) B/N市マククリーン郡教育長一行が来旭(3人)

・文化交流 合計179人

1977年(昭和52年) ブルーミントン市からザ・シギング・ワイヤーズ 合唱団一行30人が来旭し2回公演

1982年(昭和57年) 姉妹都市提携20周年記念文化交流団(団長:竹内市議)一行26人が  
B/N市を訪問し, 琴, 尺八, 三味線の演奏会を開催

1987年(昭和62年) 姉妹都市提携25周年記念訪問団にスウィングジャズ・オーケストラ・アフタツ一行20人  
が同行しB/N市で演奏会を開催

1992年(平成4年) 姉妹都市提携30周年記念訪問団にスウィングジャズ・オーケストラ・アフタツ一行21人  
が 同行しB/N市で演奏会を開催

1999年(平成11年) イリノイ・ウェリアン大学のジャズ・アンサンブル一行26人が来旭し, 旭川と富良野で  
演奏会を開催

2002年(昭和14年) 姉妹都市提携40周年記念訪問団(団長:菅原市長)一行26名が  
B/N市を訪問し, 陶芸の実演と日本舞踊を披露

2007年(平成19年) 姉妹都市提携45周年記念訪問団一行30人が来旭し, イリノイ・ウェリアン大学の  
ピアニスト, アパンググループ が市内各地で演奏会を実施

・スポーツ交流(少年野球交流) 合計164人

両市の少年野球チーム「コメッツ」と「北稜球団」が交流試合などで交流



旭川から1回(28人)派遣

1998年(平成10年) 北稜球団一行がB/Nを訪問(28人)

B/Nから4回(136人)受入れ

1983年(昭和58年) イリノイ州立大学野球部監督ダフィー・バス夫妻、コーチ夫妻が来旭(4人)

1995年(平成7年) コメッツ一行が来旭(27人)

1997年(平成9年) コメッツ一行が来旭(29人)

1999年(平成11年) コメッツ一行が来旭(40人)

2001年(平成13年) コメッツ一行が来旭(36人)

### 3 団体等の交流

- 1965年(昭和40年) HBC旭川放送局とブルーミントンWJBC放送局が姉妹局締結
- 1967年(昭和42年) 旭川JCとブルーミントン・ノーマルJCが姉妹関係を締結
- 1968年(昭和43年) 旭川5ライオンズクラブとブルーミントンライオンズクラブが姉妹クラブ締結
- 1969年(昭和44年) 市立常盤中学校とブルーミントン市立中学校が姉妹校締結
- 1992年(平成4年) 旭川ソロプチミストとブルーミントンソロプチミストが姉妹提携
- 1995年(平成7年) 北海道教育大学旭川校とイリノイ州立大学が姉妹校提携

### 4 日本庭園・記念碑等について

- 1967年(昭和42年) 姉妹都市提携5周年を記念してブルーミントン市のミラー公園に日本橋を造成し「インターナショナル・フロンツィップ・ブリッジ」と名付ける。
- 1982年(昭和57年) 姉妹都市提携20周年記念訪問団に造園業者2人(山田植木)が同行し、ユーイング・キャッスル奥に日本庭園約10m<sup>2</sup>を造成
- 1986年(昭和61年) この庭園をユーイング・キャッスル前に移転・拡張するために旭川から造園業者3人(山田植木, 旭川造園建設)が派遣され、約850m<sup>2</sup>の日本庭園を完成させる。庭園内の1m50cmの築山は、B/Nで一番高い「山」となる。
- 1995年(平成7年) 旭川市7条緑道にブルーミントン・ノーマル広場開設、ブルーミントン・ノーマル両市からフロンツィップ・ホールの寄贈
- 2002年(平成14年) 姉妹都市提携40周年を記念して、ノーマル市内のコンステーショントレイル沿いに日本庭園および鳥居を新設(約580m<sup>2</sup>)
- 2012年(平成24年)
- ・姉妹都市提携50周年を記念して、ノーマル市内のコンステーショントレイル沿いにある日本庭園内に茶室を新設
  - ・旭川市からノーマル市内コンステーショントレイル沿い日本庭園内にこしだれ桜の苗木1本と石碑1基を寄贈
  - ・ブルーミントン市がマックグロウ公園内に旭川市を紹介する石碑を建造
  - ・マコウィツ前市長がミラー公園内にフロンツィップ・ブリッジを紹介する石碑を寄贈

### 5 動植物の交流について

- 1963年(昭和38年) 山崎酒造提供の花の種 5000 袋がブルーミントン市内の小学校に贈呈され、フランクリン公園内に植えられる。
- 1967年(昭和42年) ブルーミントン市から旭山動物園の開園にあたり、アライグマ、アメリカフォックス、鳩が寄贈される。
- 1969年(昭和44年) ブルーミントン市から送付のあった木の種(モジバク)を育苗し旭山動物園内等に移植
- 1976年(昭和51年) 姉妹都市提携15周年並びにアメリカ建国200年を記念して、旭川市から市花ツツジ201本をブルーミントン市へ発送
- 1988年(昭和63年) ブルーミントン・ノーマル両市から友情のシンボルとしてリスが贈られる。
- 1995年(平成7年) 7条緑道のブルーミントン・ノーマル広場開設に伴い、10ポンド(約454グラム)の野の種が寄贈される。

## 6 旭川市国際親善名誉市民称号の贈与

今までに贈与したB/N関係者 合計20人

ブルーミントン市長 7人

- 1967年(昭和42年) ボブ・マックグロウ氏
- 1973年(昭和48年) ウォルター・ビットナー氏 (S49 来旭)
- 1978年(昭和53年) リチャード・ブキャナン氏 (S53, S55, S59 来旭)
- 1986年(昭和61年) ジェイシー・スマート氏 (S61, H2, H6 来旭)
- 1997年(平成9年) ジュディ・マーコウィッツ氏 (S37, H9 来旭)
- 2005年(平成17年) スティーブン・ストックトン氏 (H17, H19 来旭)
- 2017年(平成29年) テリー・レナー氏 (H29 来旭)

ノーマル市長 4人

- 1980年(昭和55年) リチャード・ゴッドフリー氏 (S55, S59 来旭)
- 1986年(昭和61年) ポール・ハーモン氏 (S61, H2 来旭)
- 1995年(平成7年) ケント・キャラカー氏 (H7, H9 来旭)
- 2007年(平成19年) クリストファー・コース氏 (H19 来旭)

B/N姉妹都市委員長 9人

- 1970年(昭和45年) ダグラス・ロードマン氏 (S45 来旭)
- 1980年(昭和55年) ジャック・キング氏 (S52, S55 来旭)
- 1984年(昭和59年) アール・キングマン氏 (S59, H15, H17, H19 来旭)
- 1988年(昭和63年) アーリン・ペニー氏 (S63, H2 来旭)
- 1992年(平成4年) セオドア・ジョーダン氏 (H6 来旭)
- 1997年(平成9年) デュエイン・モス氏 (H9, H13 来旭)
- 2005年(平成17年) ラリー・シアーズ氏 (H13, H17 来旭)
- 2012年(平成24年) リチャード・スタール氏 (H14, H20, H23 来旭)
- 2017年(平成29年) ハリエット・スタインバック (H22, H29 来旭)

## ブルーミントン・ノーマル両市との過去の記念行事

### 5周年（昭和42（1967）年）

- ・ブルーミントン市より旭山動物園の開園にあたり、アライグマ、アメリカンフォックスなど寄贈され、空路到着
- ・ブルーミントン市ミラー公園に日本橋が完成し、記念式典にあたり両市長及び委員長とで国際電話対談を実施
- ・初の高校生による交換学生として、上出利光くんがブルーミントン市へ出発
- ・5周年記念訪問団として、五十嵐市長夫妻、市職員三浦氏、文化使節として文連谷口広志事務局長がブルーミントン・ノーマル両市を訪問

### 10周年（昭和47（1972）年）

- ・10周年記念訪問団（森山委員長ほか14名）が10日間の日程でブルーミントン・ノーマル両市を訪問
- ・ブルーミントン市において旭川画家展、色紙の配布を行う。

### 15周年（昭和51（1976）年）

- ・姉妹都市提携15周年及びアメリカ建国200年を記念して旭川市から市花ツツジ201本をブルーミントン市へ発送

### 20周年（昭和57（1982）年）

- ・20周年記念訪問団（森山委員長ほか40名）昭和57年8月4日～8月14日
- ・記念誌作成（1,000部）
- ・ブルーミントン・ノーマルの森整備（神楽見本林内、北方産外国樹種1,100本植樹、300名出席）
- ・ブルーミントン・ノーマルの森整備（神楽見本林内、記念塔の建立）
- ・姉妹都市提携20周年記念展示会（丸井今井デパート、写真・記念楯等800点展示、3,000名見学）
- ・姉妹都市提携20周年記念祝賀式典開催（10年以上継続委員表彰、500名出席）
- ・日本庭園の整備（ブルーミントン市ユイング・キャッスル奥10㎡、造園業者2名派遣）
- ・弁論大会開催（300名出席）
- ・20周年記念文化交流団派遣（竹内市議ほか琴・尺八・三味線関係者26名）昭和57年11月10日～
- ・記念式典・祝賀会開催（旭川東急イン300名）
- ・Tシャツ・ワッペンの作成

### 25周年（昭和62（1987）年）

- ・25周年記念訪問団（坂東市長、奈良委員長ほか41名）昭和62年10月1日～10月11日（うち、ブルーミントン滞在10/1～10/5）
- ・Aフラッツコンサート（イノイ・ウェスリアン大学）
- ・日本庭園開園式（ブルーミントン市ユイング・キャッスル前に移転850㎡に拡張、造園業者3名派遣）

### 30周年（平成4（1992）年）

- ・30周年記念訪問団（坂東市長、奈良委員長ほか20名）平成4年10月19日～10月29日（うち、ブルーミントン滞在10/21～10/26）
- ・記念誌作成（800部）
- ・ブルーミントン・ノーマルの森整備（神楽見本林内、掲示板の設置、記念塔周辺整備、ベンチ設置）

### 35周年（平成9（1997）年）

- ・35周年記念訪問団（ブルーミントン・ノーマル両市長，姉妹都市委員長ほか計23名，コメッツ関係者計29名 合計52名）平成9年7月28日～8月3日来旭
- ・コメッツ少年野球チームと北陵球団との親善試合

### 40周年（平成14（2002）年）

- ・40周年記念訪問団（菅原市長，奈良委員長ほか24名）平成14年7月24日～7月30日（うち，ブルーミントン滞在7/25～7/29）
- ・記念誌作成（400部）
- ・日本文化紹介（ブルーミントン市内にて陶芸家の実演・日本舞踊）
- ・日本庭園及び鳥居のお披露目式（ノーマル市内のバーノン通とトワダアベニューの交差点付近にあたるコンステーショントレイル沿いに新設 約580㎡，旭川から提灯・幟を寄贈）
- ・ブルーミントン・ノーマルの森整備（神楽見本林内，名板の修復，台座の補修）

### 45周年（平成19（2007）年）

- ・45周年記念訪問団（ブルーミントン・ノーマル両市長，姉妹都市委員長ほか計12名，音楽交流団12名，市民訪問団6名 合計30名）平成19年6月6日～6月11日来旭
- ・記念誌作成（900部）
- ・ブルーミントン・ノーマルの森整備（神楽見本林，記念塔の改修）
- ・パネル紹介展（アッシュトリウム，写真・パネル展示，ビアナツ・記念コンサートPR用チラシ配布）
- ・ブルーミントン・ノーマルの森記念植樹（神楽見本林，桜苗木45本植樹 101名出席）
- ・記念式典・祝賀会開催（旭川ランドホテル 156名）
- ・歴代交換学生との昼食会（旭川市博物館 郷土学習室 34名）
- ・お茶会（大雪クリスタルホール 中庭 38名）
- ・姉妹都市提携45周年記念コンサート（大雪クリスタルホール 音楽堂，BN：アカラグループ ササットほか11名，旭川市：コスパグループ Crystal of joy）
- ・さよならパーティー（ブルーミントンビル 80名）

### 50周年（平成24（2012）年）

- ・50周年記念訪問団（合計39名）の派遣  
西川市長を団長とする旭川市代表团5名 平成24年7月21日～7月27日（BN滞在7/22～7/25），  
山田委員長を団長とする市民訪問団34名 平成24年7月21日～7月29日（BN滞在7/22～7/27）
- ・ブルーミントン・ノーマル両市内で行われる記念行事への参加  
姉妹都市交流50周年の歴史を振り返る記者会見。  
日本庭園内（ノーマル市内のバーノン通とトワダアベニューの交差点付近にあたるコンステーショントレイル沿いに40周年記念の際に新設された日本庭園約580㎡）に新設された「茶室」の開所式。  
日本庭園内にしだれ桜1本，記念名石1基を旭川市が寄贈し記念植樹。  
ブルーミントン市のミテ公園内の日本橋のたもとに，フレッドシップ・ブリッジを紹介する記念碑が新たに建てられる。  
ブルーミントン市のマックグロウ公園内に旭川市を紹介する記念碑が新たに建てられる。  
日本文化紹介（ブルーミントン市内にて生け花の実演・講習会・お琴と尺八の合奏）が行われる。  
イリノイ州立大学学生ほかとの意見交換，マックリー郡商工会議所会員とのビジネスミーティング
- ・記念誌作成（400部）
- ・高校生の交換学生2名を相互に派遣。

## 55周年（平成29（2017）年）

- ・55周年記念訪問団（ブルーミント・ノーマル両市長，姉妹都市委員長ほか 合計34名）平成29年8月1日～8月6日来旭
- ・記念誌作成（150部）
- ・ブルーミント・ノーマルの森に植樹（神楽見本林）
- ・ブルーミント・ノーマルの森記念植樹（神楽見本林，桜苗木45本植樹 101名出席）
- ・記念式典・祝賀会開催（旭川クラフトホテル 156名）
- ・歴代交換学生との昼食会（旭川市博物館 郷土学習室 34名）
- ・お茶会（大雪クリスタルホール 中庭 38名）
- ・姉妹都市提携45周年記念コンサート（大雪クリスタルホール 音楽堂，BN：アパグループ サブツトほか11名，旭川市：コスパグループ Crystal of joy）
- ・さよならパーティー（ブルーミントビル 80名）

## ブルーミントン市長



### 略 歴

- 氏 名 ムボカ・ムウィランブウェ (Mboka Mwilambwe)
- 国 籍 米国 (コンゴ民主共和国首都キンシャサ生まれ)
- 現 住 所 イリノイ州ブルーミントン市
- 来 歴 7人兄弟の末っ子として生まれる。  
1977年 父親がユニセフの職員となりコートジボワールの首都アビジャンに家族で移住  
1983年 セネガルの首都ダカールに家族で移住  
1988年 コンゴ共和国の首都ブラザヴィルに家族で移住  
1989年 高校卒業し、大学進学のため渡米しニューヨークへ  
1990年 イリノイ州立大学入学  
1994年 イリノイ州立大学数学科卒業後、同学大学院へ進学
- 職 歴 1997年 イリノイ州立大学に就職
- 現在の役職 イリノイ州ブルーミントン市長1期目 (2021年5月1日就任)
- 家 族 妻 (ステイシー) ・子供4人 (マヤ、マリアマ、アメリー、ジョナ)
- そ の 他 英語に加え3か国語 (フランス語、スワヒリ語、リンガラ語) を話すほか、高校でスペイン語を学んだ。

## ノーマル市長



### 略 歴

氏 名 クリストファー・C・コース (Christopher C. Koos)

生年月日 1948年7月6日 (75才) 男性

国 籍 米国 (イリノイ州ブルーミントン・ノーマル生まれ)

現住所 イリノイ州ノーマル市

現在の役職 イリノイ州ノーマル市長5期目 (2003年2月17日就任)  
ビテッシー自転車及びオフテン・ランニング (靴店) のオーナー兼経営者

学 歴 イリノイ州立大学卒業  
セントラルカソリック高校 (ブルーミントン市) 卒業

家 族 子供1人

趣 味 木工、料理、サイクリング

旭川市への訪問回数 2回

- 2007 (H19) 年姉妹都市提携45周年記念行事に出席するために来旭。  
滞在中の6月8日には本市から国際親善名誉市民称号を贈与されている。
- 2017 (H29) 年姉妹都市提携55周年記念行事に出席するために来局。

ブルーミントン・ノーマル・旭川姉妹都市委員長



略 歴

氏 名 ダレン・サンプソン (Darren Sampson)

生年月日 1968年7月22日 (55歳) 男性

国 籍 米国

現住所 イリノイ州ノーマル市バウムガートドライブ1608番地

職 業 ステートファーム保険 保険請求部門 (勤続25年)

学 歴 心理学及び教育学学位

姉妹都市委員歴

2013 (平成25)年 姉妹都市委員就任

2017 (平成29)年 姉妹都市委員長就任

来 歴 1968 (昭和43)年 米軍三沢基地 (青森県) に生まれる。

生後7か月のとき、両親とともに米国に帰国

1984 (昭和59)年 16歳の誕生日に高校生の交換学生として来旭

1989 (平成元)年 21歳のとき中学生語学研修の引率として来旭

家 族 妻：ミシェル (本年9月に結婚30周年を迎える)

長男：ブレット

長女：ホリー